

成人先天性心疾患の三尖弁疾患に対する外科的治療戦略

1. 臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。その一つとして、九州大学病院心臓血管外科では、現在、成人先天性心疾患に合併した三尖弁疾患を有する患者さんを対象として、三尖弁の外科的治療に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2029 年 3 月 31 日までです。

2. 研究の目的や意義について

成人先天性心疾患とは、生まれつき心臓の形態異常などを伴った患者さんが外科的もしくは内科的治療を行い、成人期に達したのちに出現した心疾患、または成人期に初めて診断された心形態異常の総称です。幼少期に行った手術で使用した人工物が石灰化し機能不全を生じたり、幼少期に診断・治療されなかったことにより長期にわたり心臓に負荷がかかって、弁膜症や不整脈が生じたりなどします。三尖弁疾患は通常、単独で手術が必要となることはまれであり、薬物治療が行われます。しかし薬物治療だけでは心不全症状が進行する患者さんや、ほかに手術の必要がある心疾患を合併している場合は、手術が行われます。手術は三尖弁形成術が第一選択ですが、場合によっては人工弁置換術を行うこともあります。三尖弁形成術に加えて人工腱索を用いたり、心臓の筋肉を寄せたりする手技が追加される場合もあります。

成人先天性心疾患に合併した三尖弁疾患は、様々な要因で発症するため、それらに応じた手術方法を選択する必要があります。本研究で過去の術式別治療成績を検討することにより、将来的な治療成績の向上や術後管理の最適化に貢献することが期待されます。

3. 研究の対象者について

2012 年 1 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までに九州大学病院で三尖弁に対する外科的治療が行われた成人先天性心疾患患者さん 45 名が対象となります。研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。

[取得する情報]

年齢、性別、身長、体重、原疾患、併存疾患、血液検査データ（白血球数、赤血球数、ヘモグロビン値、血小板数、PT-INR、APTT、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、尿素窒素、クレアチニン、CK、CK-MB、CRP、Na、K、遊離ヘモグロビン）、血液ガス分析（pH、PaO₂、PaCO₂、SaO₂、BE、乳酸値）、染色体検査、画像検査データ（胸部レントゲン所見、心臓超音波検査所見、CT 所見、MRI 所見）、呼吸循環パラメーター（圧データ、SpO₂、人工呼吸器設定）、手術治療の詳細（手術情報）、合併症（出血性合併症、塞栓性合併症、臓器合併症、血管合併症）、転帰、心不

全症状の所見。

[利用又は提供を開始する予定日]

研究許可日以降

5. 研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない方は、下記の相談窓口にご連絡ください。

なお、研究への参加を撤回されても、あなたの診断や治療に不利益になることは全くありません。

その場合は、収集された情報は廃棄され、取得した情報もそれ以降はこの研究目的で用いられることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

6. 個人情報の取扱いについて

研究対象者のカルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院医学研究院循環器外科学分野内に保管します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院循環器外科学分野・助教・藤本智子の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

7. 試料や情報の保管等について

[情報について]

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院循環器外科学分野において同分野教授・塩瀬明の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

しかしながら、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

8. この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は部局等運営経費でまかなわれています。

9. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのため

の資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じることがあります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究の研究分担者には、寄附講座（①重症心肺不全講座、②大動脈先進治療学講座）に所属のものが参画しており、当講座は①ニプロ株式会社・アボットメディカルジャパン合同会社・日本メドトロニック株式会社、②日本メドトロニック株式会社・日本ライフライン株式会社からの寄附金によって運営されていますが、本研究と上記企業との関係性はありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

（窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082）

10. 研究に関する情報の公開について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

11. 特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性があります。その権利は九州大学に属し、あなたには属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性があります。これについてもあなたに権利はありません。

12. 研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

13. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院 心臓血管外科 九州大学大学院医学研究院 循環器外科学分野 九州大学大学院医学研究院 重症心肺不全講座 九州大学大学院医学研究院 大動脈先進治療講座
研究責任者	九州大学大学院医学研究院 循環器外科学分野 教授 塩瀬 明

研究分担者	九州大学大学院医学研究院	循環器外科学分野	助教	藤本	智子
	九州大学病院心臓血管外科	講師	園田	拓道	
	同	講師	安東	勇介	
	同	助教	城尾	邦彦	
	同	助教	鬼塚	大史	
	同	助教	内山	光	
	九州大学大学院医学研究院	重症心肺不全講座	講師	牛島	智基
	九州大学大学院医学研究院	大動脈先進治療講座	講師	恩塚	龍士

14. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学大学院医学研究院循環器外科学分野 助教 藤本 智子 連絡先：〔TEL〕 092-642-5557 〔FAX〕 092-642-5566 メールアドレス：fujimoto.noriko.553@m.kyushu-u.ac.jp
---------------	---

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

九州大学病院長